

算出表（記載例）

施設名	〇〇病院	
所在地	札幌市中央区北〇条西△丁目〇番×号	
立会日	令和5年4月2日	
外部立会人氏名	北海 太郎	
従事時間（※1）	8 時間 午前 午後 9時00分～（ 午後 ） 5時00分	
上記従事時間に基づく負担の上限額	10,900	円 (A)
外部立会人経費総額(※2)	15,000	円 (B)
(A)、(B)のうち小さい方の額	10,900	円 (C)

外部立会人が複数の場合は立会人ごとに、立会日が複数ある場合は、立会日ごとに別葉で作成してください。

- (ア) 1日の従事時間が7時間を超える場合
10,900円

(イ) 1日の従事時間が7時間以下の場合

従事時間	～1時間	～2時間	～3時間	～4時間	～5時間	～6時間	～7時間
上限額	1,282円	2,565円	3,847円	5,129円	6,412円	7,694円	8,976円

1 按分

選挙の種類	投票者数	(C)	投票者/(e)	按分結果(円)※5
① 北海道知事 北海道議会議員	(a) ※4 30	10,900 円	$\times \frac{(a) \ 30}{(e) \ 57} =$	5,736 (ア)
② 札幌市長選挙 札幌市議会議員	(b) ※4 25		$\times \frac{(b) \ 25}{(e) \ 57} =$	4,780 (イ)
※3 ③ 〇〇県知事 〇〇県議会議員	(c) ※4 1		$\times \frac{(c) \ 1}{(e) \ 57} =$	191 (ウ)
※3 ④ △△市議会議員	(d) 1		$\times \frac{(d) \ 1}{(e) \ 57} =$	191 (エ)
合 計	(e) 57			10,898 (D)

2 差額調整

(C) 10900	(C)と(D)の差額	2	円
(D) 10898			

【差額調整】次の場合分けのうち該当する内容を3に記載

- ・(C) = (D) → 調整なし
- ・(C) > (D) → 道への請求額 (ア) + 差額分
- ・(C) < (D) → 道への請求額 (ア) - 差額分

3 請求先別請求額

①	(ア) 5,736	2	円	=	5,738 (円)
②	(イ) 4,780				(円)
③	(ウ) 191				(円)
④	(エ) 191				(円)

※①(道への請求)のみ差額調整が必要です。
・2での差額調整の結果を+〇円、-〇円と記載。
・差額調整を行っていない場合は記載不要

※1 1日の従事時間が7時間以下の場合で、1時間未満の端数があるときは、1時間に切り上げてください。
 ※2 負担の上限額にかかわらず、実際に支給した謝金及び旅費(報酬及び費用弁償)の金額を記入してください。
 ※3 上記以外の選挙について投票が実施された場合は、その選挙の種類を記入してください。
 ※4 同一団体において、長及び議会議員の選挙が両方ある場合に、両方の選挙に投票した者、いずれかの選挙のみ投票した者、どちらも1人の投票者として数えてください。
 ※5 1円未満の端数は、四捨五入してください。